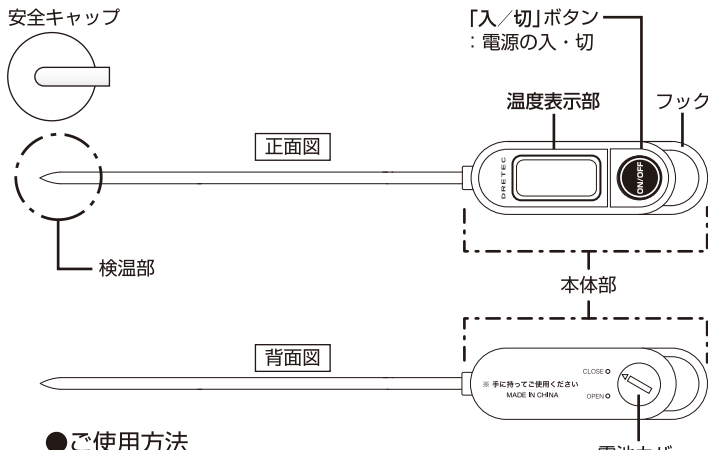


取扱説明書



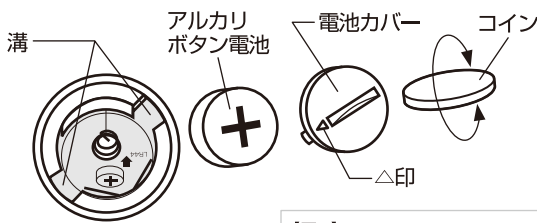
●ご使用方法

- 1) 検温部の安全キャップを取りはずします。
- 2) 「入/切」ボタンを押して電源を入れます。
※温度表示部に現在の温度が表示されます。
- 3) 検温部を測定したいものに触れさせて測定します。
※表示範囲 -50°C ～ $+300^{\circ}\text{C}$ よりも測定された温度が高い場合は、温度表示部に「HH.H」低い場合は「LLL」と表示されます。
- 4) 測定後、「入/切」ボタンを押して電源を切ります。
※本製品は、電源を入れてから約45分経過すると自動的に電源が切れる省電力構造になっております。(本製品にはタイマーを備えていないため、時間には誤差が生じます。電源が切れるまでの時間はあくまで目安となります。)

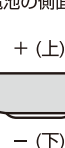
●電池交換

- 1) 本体裏面の電池カバーの△印と「OPEN」の○マークが合うように、電池カバーをコイン等で回して取りはずします。(図3参照)
- 2) 古い電池を抜き取り、新しい電池の極性(+、-)を正しく入れます。(+)を上にしてください。
※電池が取り出しにくい場合は、マイナスドライバー等の先が尖ったものを使い、図2のようにして取り出してください。
※電池の極性を間違えると液漏れ等が発生するおそれがありますのでご注意ください。
※電池を破棄するときはお住まいの自治体の指示に従ってください。
- 3) 電池カバーの△印と本体裏側の「OPEN」の○マークを合わせて、電池カバーをはめます。コイン等で△印と「CLOSE」の○マークが合うように回して閉じます。(図3参照)
※電池カバーが確実に閉じている事を確認してからご使用ください。

【図1】

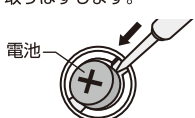


電池の側面図

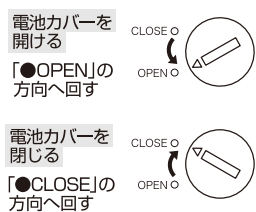


【図2】

溝にマイナスドライバー等の先の尖ったものをさし込み、電池を浮かせて取りはずします。



【図3】



●電池寿命

この温度計は新しい正常な電池を組み込んだ場合、約2年間動作します。(1日30分使用した場合：室温 20°C)

製品に組み込まれている電池は動作確認用電池ですので、電池寿命は表示期間よりも短い場合があります。

※使用しない場合は電源の「入/切」ボタンで電源を切ってください。

●お手入れ方法

本体の汚れはかたく絞ったふきんで拭き取ってください。汚れがひどいときは中性洗剤をつけて拭き取ってください。

お手入れの際、シンナー・ベンジン・ガソリン・灯油・アルコール、漂白剤などは使わないでください。変色、変形、破損のおそれがあります。

●製品仕様

表示方法	液晶デジタル4桁
表示範囲	-50°C ～ $+300^{\circ}\text{C}$
検温部の使用温度範囲	-10°C ～ $+300^{\circ}\text{C}$
本体部の動作温度範囲	0°C ～ $+50^{\circ}\text{C}$
表示単位	-10°C ～ $+100^{\circ}\text{C}$ ：0.1℃ $+100^{\circ}\text{C}$ ～ $+300^{\circ}\text{C}$ ：0.5℃
精度	-10°C ～ $+100^{\circ}\text{C}$ ：±1℃ $+100^{\circ}\text{C}$ ～ $+200^{\circ}\text{C}$ ：±2℃ $+200^{\circ}\text{C}$ ～ $+300^{\circ}\text{C}$ ：±3℃
オートパワーオフ	約45分(目安時間)
防滴仕様	JIS C 0920 IPX2 相当
電源	DC1.5V (アルカリボタン電池LR44×1個)

■製品についてのお願ひ事と注意

- 1) 本製品は防滴構造になっていますが、防水タイプではありませんので、水中に入れたり水洗い等は避けてください。
- 2) 高温や磁気の高い場所に置かないでください。
- 3) 加熱、分解、充電、改造、水中や火中での使用は避けてください。
- 4) 落下や衝撃は故障の原因になりますのでご注意ください。
- 5) 本製品検温部の使用可能な温度範囲は -10°C ～ $+300^{\circ}\text{C}$ です。この範囲以外の温度の計測は故障の原因になります。
- 6) 本体部は樹脂でできていますので、直接炎に当たったり、高温になる場所に置かないでください。
- 7) 検温部は串上になっており、ケガをする危険があります。取り扱いに十分ご注意の上、使用しない場合は必ず先端部にキャップをはめてください。
また、保管する際は、乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- 8) 本製品は調理用ですので、体温測定等には使用しないでください。

⚠ 電池についての警告

- ショートさせたり、分解、加熱はしないでください。また、火中に投げないでください。発熱、液漏れ、破裂の原因になります。
- アルカリ電池の場合、万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着した場合はきれいな水で洗い流し、目に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- 電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池とまじると発火、破裂の原因になります。

⚠ 電池についてのご注意

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと、液漏れや破裂のおそれがあり機器の故障、けがの原因となります。

- ※ 電池の極性(+・-)を正しく入れてください。
- ※ 使い終わった電池はすぐに器具から取り出してください。
- ※ 長期間使用しない場合は電池を取り出しておいてください。